

関山街道・桜フォトコンテスト R2/6/27 審査会の結果

仙台市協働まちづくり推進助成事業

■応募者数20人 作品数61作品

■会場：広瀬市民センター

■審査委員

・(審査委員長) 央戸清孝氏(写真家)

・(審査委員) 高階道子氏(桜の名所づくりアドバイザー)

平川新氏 (元宮城学院女子大学学長)

■主催：関山街道さくらプロジェクト実行委員会

(関山街道フォーラム協議会、愛子宿めぐり実行委員会)

最優秀賞 1作品



「雪桜をスマホで写せば思い出広がる」

庄子一夫様

【講評】 央戸清孝審査委員長

春4月11日撮影とありました。関東から南はすでに桜が終わった時期、南東北は桜が咲きまだ花々が残って居る、そんな春の時にも時折雪が降る。その感動をスマホで残しておこうと思った気持ちを更にカメラに納めている。東北の春の意味が伝わり、それが東北の三大祭りへと冬を乗り越えた心までつながる感じを受けました。「雪桜をスマホで写せば思い出広がる」

優秀賞 2作品



「人知れず」
鈴木裕子様

【講評】
平川新審査委員

赤い鳥居と明るい桜のコントラストが良い



「青空に映えて 古木」
大釜孝様

【講評】
平川新審査委員

土手の上にそびえる桜、立体感がある

佳作 3作品



「貫津の種蒔き桜(山形天童)」
浅黄健一様

【講評】
高階道子審査委員

まさに山里の春、菜の花とエドヒガンのピンクがハーモニーを奏で農作業の始まりを伝えている。



「待ちに待った春」
藤澤美千子様

【講評】
高階道子審査委員

雪の船形山連峰を背景に満開の春を楽しむ親子の喜びが伝わってくるような一枚。



「満開のダム公園2」
小松和廣様

【講評】
高階道子審査委員

青空の雲を背にダムのアーチ形と満開のオオヤマザクラの枝が美しい構図を作っている。